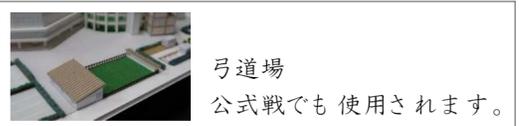
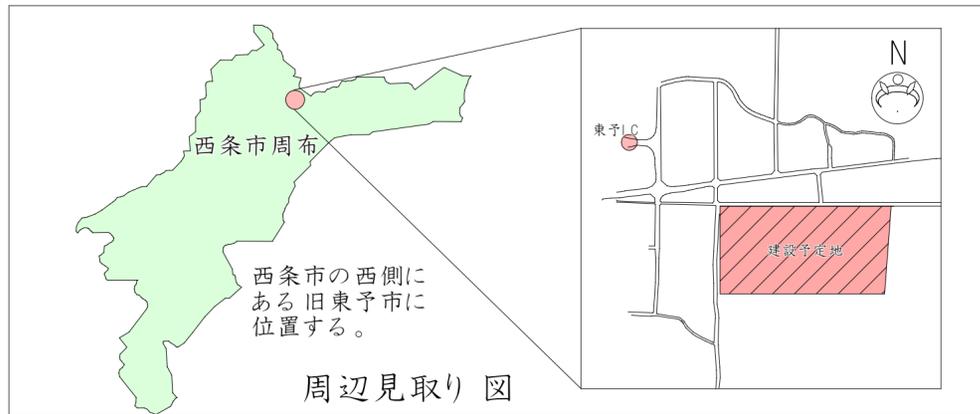


(仮称) 西条産業科学高校

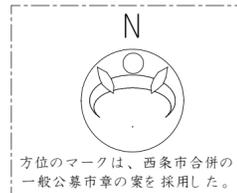
～各職業のスペシャリスト 育成を目指して～



配置図 1/1000

建築概要

構造体	本館	図書館	体育館	工業棟		
	木造	R C 造	R C 造	R C 造		
建築面積	1580㎡	306㎡	3362㎡	電気機械棟 890㎡+475㎡	建設棟 320㎡	農業棟 250㎡
延床面積	7925㎡	910㎡	13400㎡	2255㎡	640㎡	500㎡
階数	5階	地上2階地下1階	4階	2階		



設計主旨

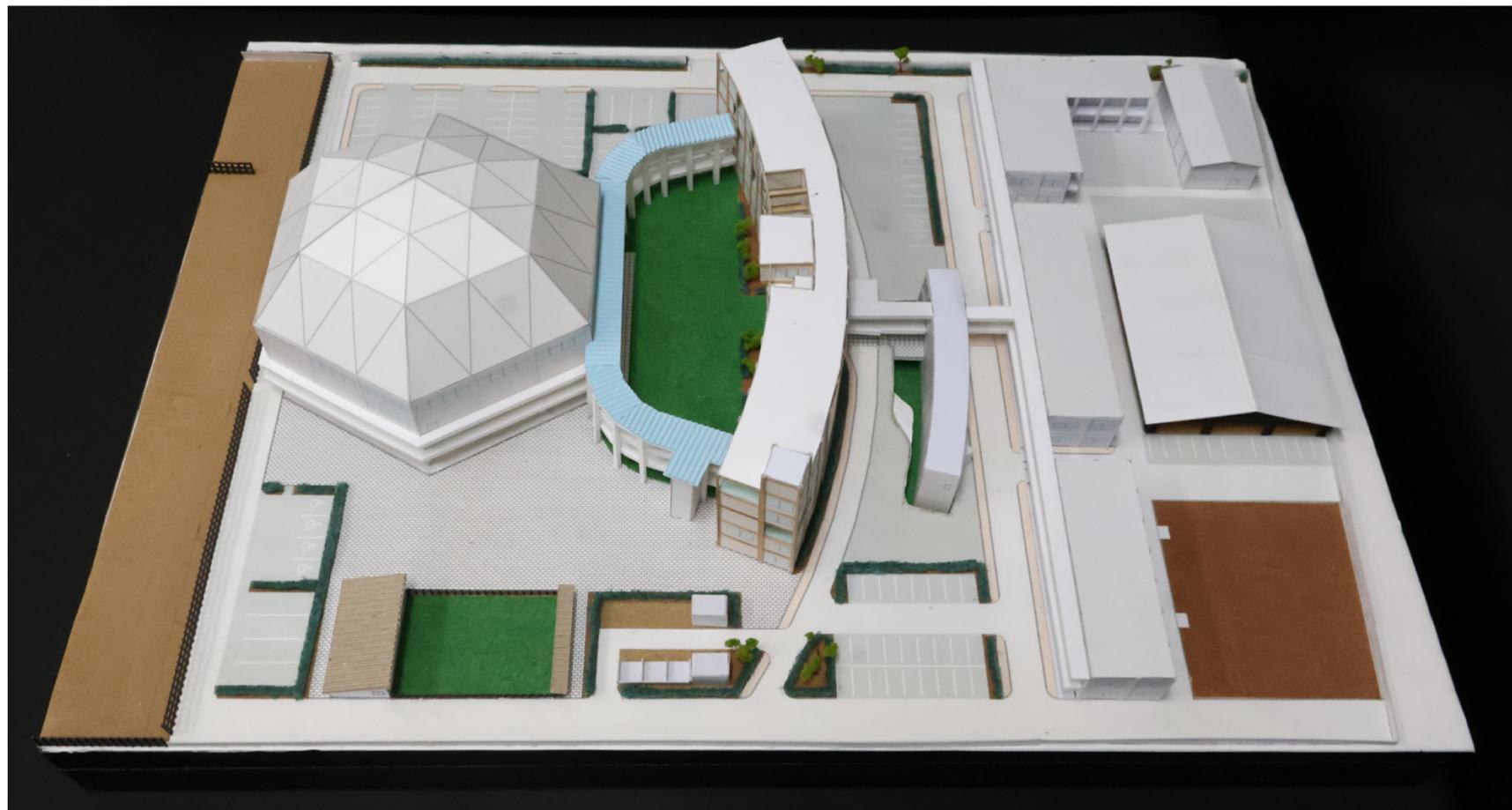
旧東予高校は昭和37年2月に壬生川工業高等学校として旧東予市に設立されました。昭和48年4月に東予工業高等学校に校名を変更。また、平成13年4月普通科設置と同時に東予高校に校名を変更し、その後、普通科の募集が停止され、平成25年4月全日制工業科の学校として新たなスタートを切りました。東予高校は、建設工学科、機械科、電気システム科の3つの科で成り立つ市内で唯一の工業高校でした。

愛媛県は、少子化による高校小規模化が進んでおり、より多くの仲間と切磋琢磨できる教育環境を実現するため、全日制的県立学校55校を5年後までに44校に統合するなどとした県立学校振興計画案を公表しました。計画案では全日制と定時制・通信制の計16高校が統合・改編の対象となっています。その中に私が今通っている東予高校も入っており、統合後、西条産業科学高校(仮称)となる予定です。それならば私が理想とする学校を設計してみたいと考えました。工業(電気機械、建設土木)、農業、家庭科、総合(商業、科学)の1学年6クラス3年制の学校です。この学校は進路に特化し、各就職・職業のスペシャリストの育成の充実をテーマとして考えました。

建物の特徴としてまず、本館、図書館、体育館、工業棟、農業棟を渡り廊下でつなぎ雨の日でも行き来しやすいようにしました。

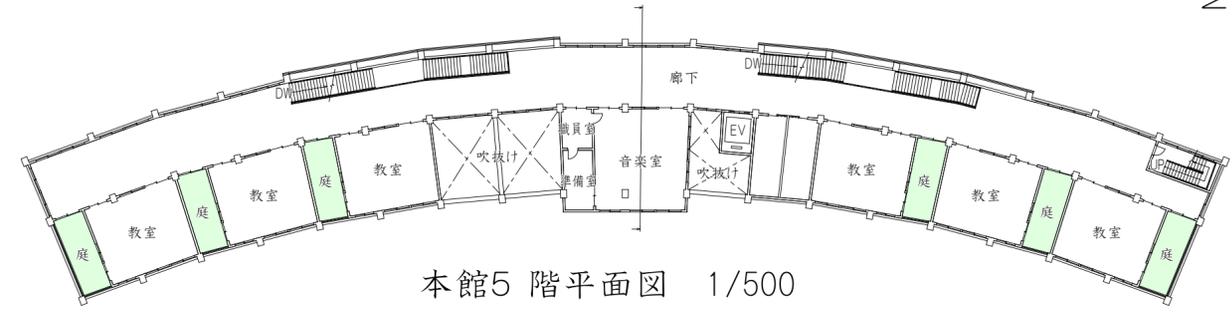
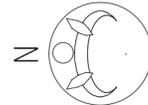
本館は、集成材とCLT材をふんだんに使用した木造ですRC造で作ったような構造物に、弧を描いたような形になっており歩く度に景色が変わります。図書館も本館に沿うような弧を描いた形をしており、導線がわかりやすくなっています。体育館は、RC造で六角形の形をしており、クライミングなど東予地区に根付いた部活動にも特化しています。

数年後には東予高校が無くなってしまいます。しかし私が培った各職業に対しての教育姿勢は変わらないと思います。この新東予高校、もとい西条産業科学高校で、将来の各職種・職業のスペシャリストを育成してくれることを願っています。

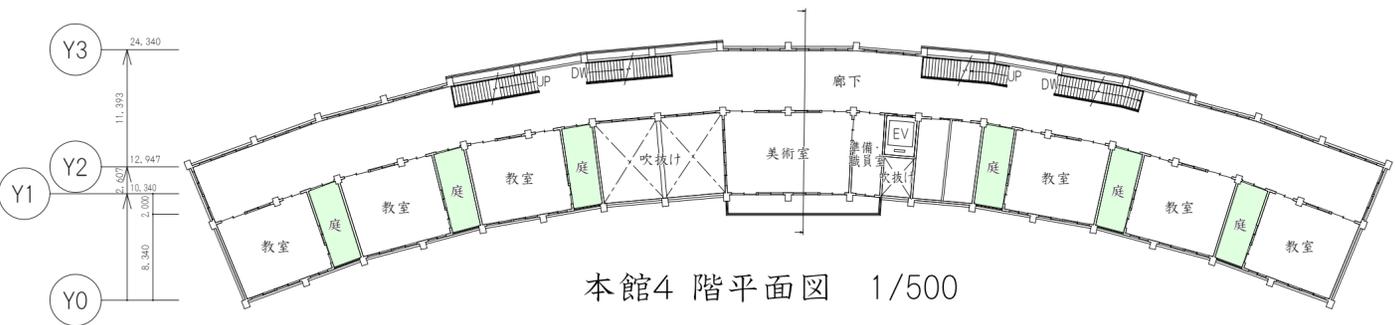


完成予想模型

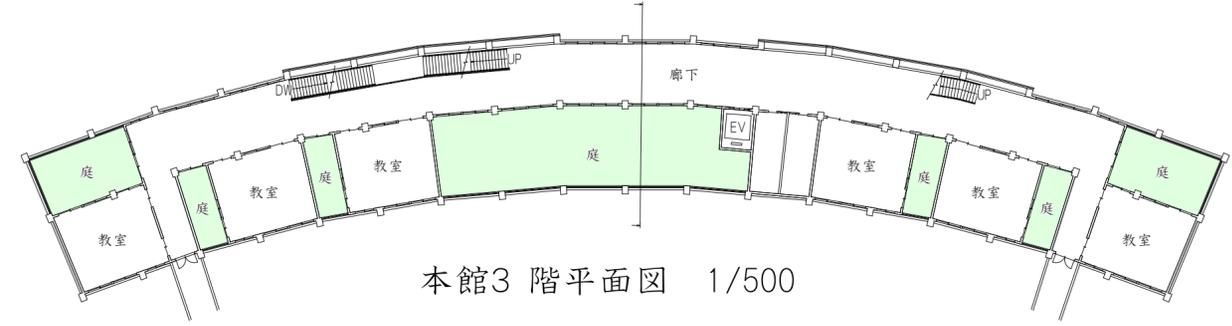
本館



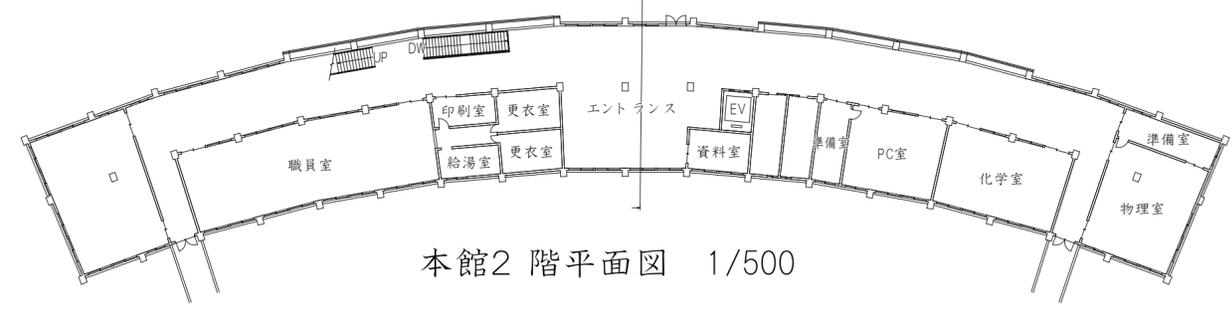
本館5階平面図 1/500



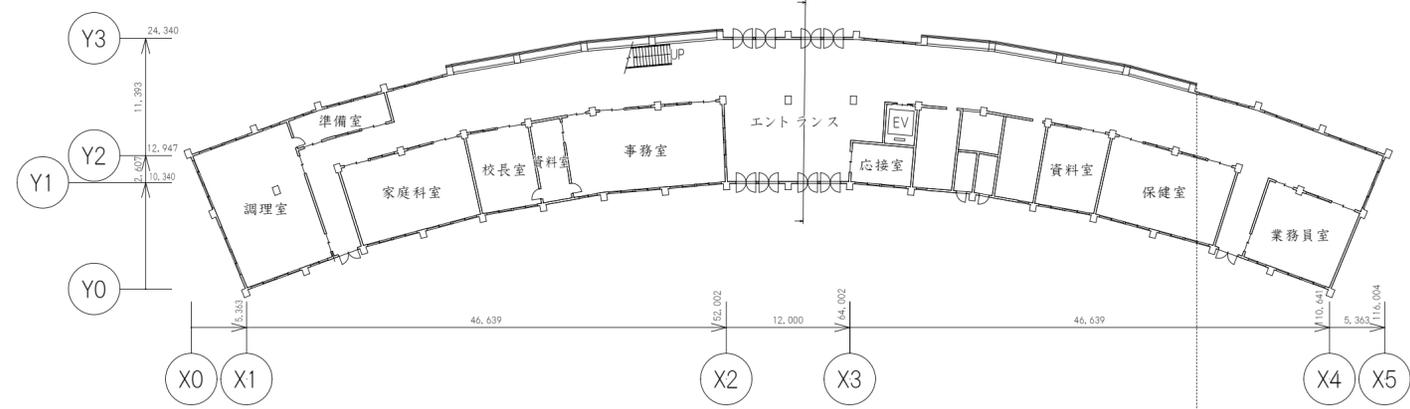
本館4階平面図 1/500



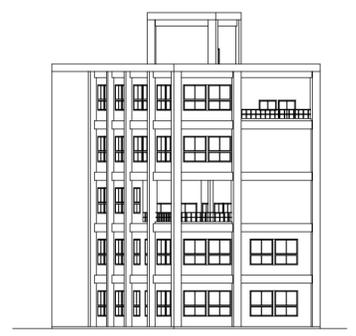
本館3階平面図 1/500



本館2階平面図 1/500



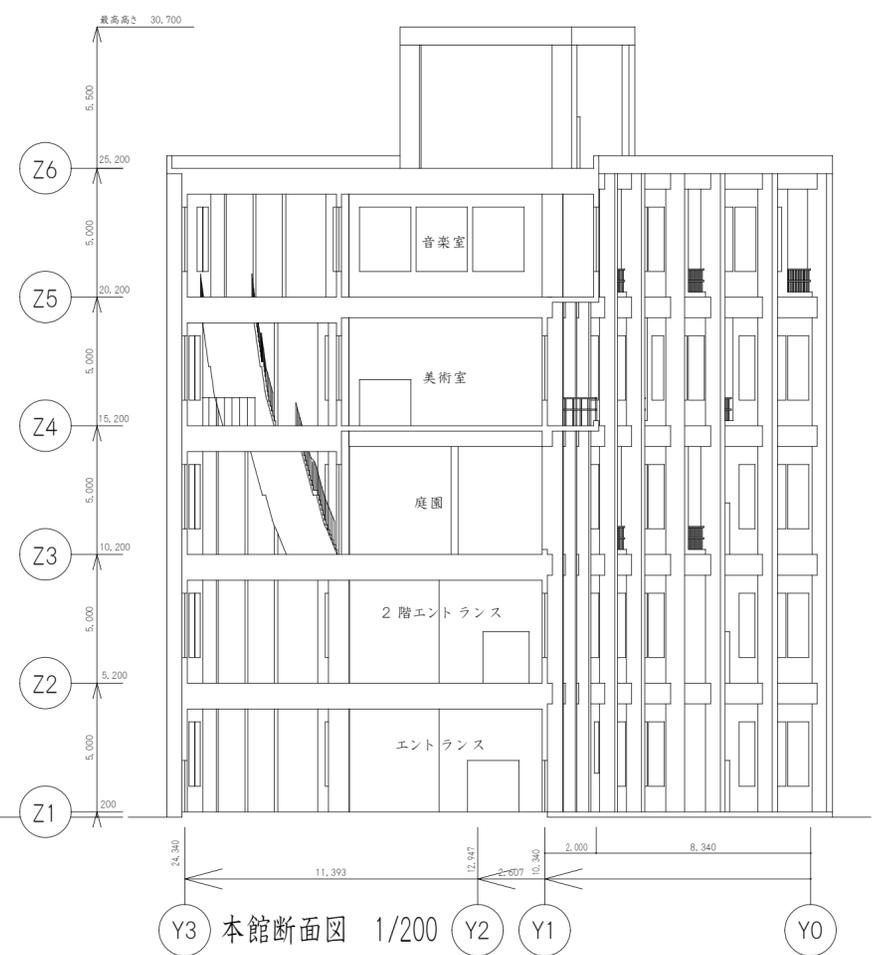
本館1階平面図 1/500



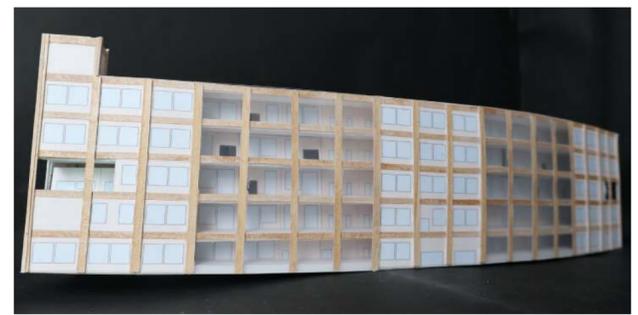
本館北立面図 1/500



本館南立面図 1/500



本館断面図 1/200



本館の東には階段を見せる形のガラス張りのエリアがあり、生徒の様子をうかがえる。西側3階には庭園があり、3～5階の生徒が過ごしやすいエリアとなっている。

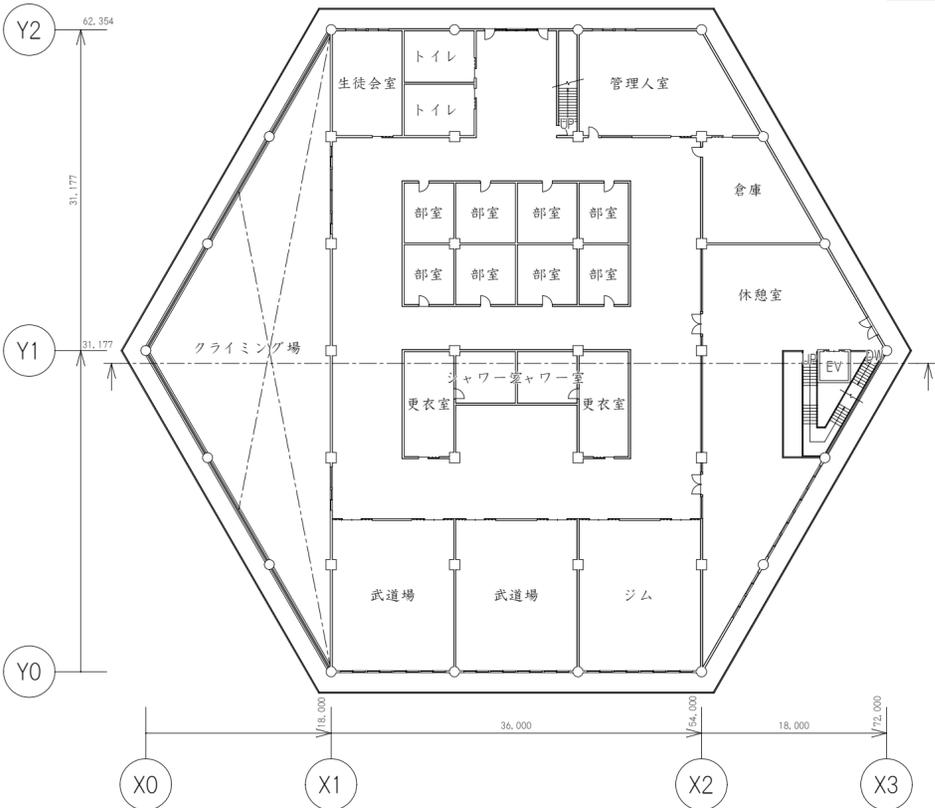


本館東立面図 1/500

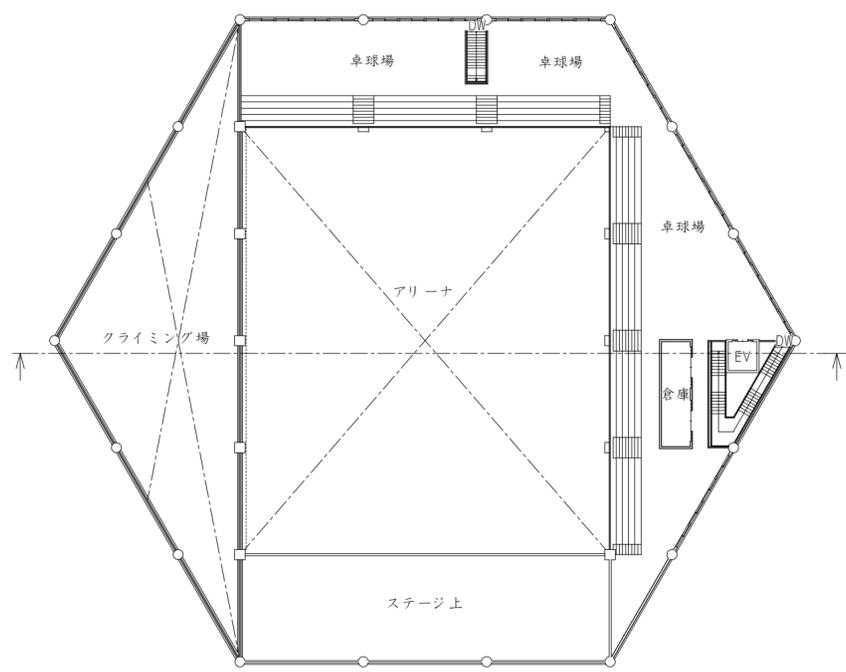


本館西立面図 1/500

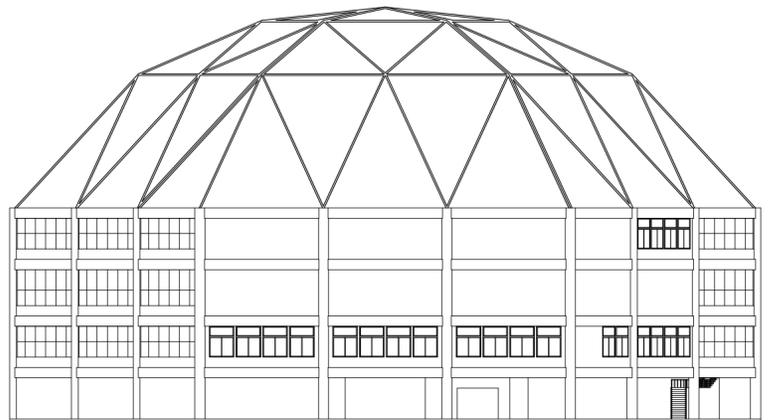
体育館



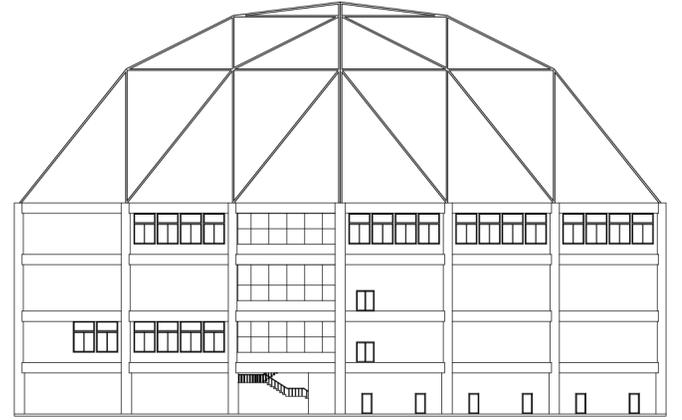
体育館2階平面図 1/500



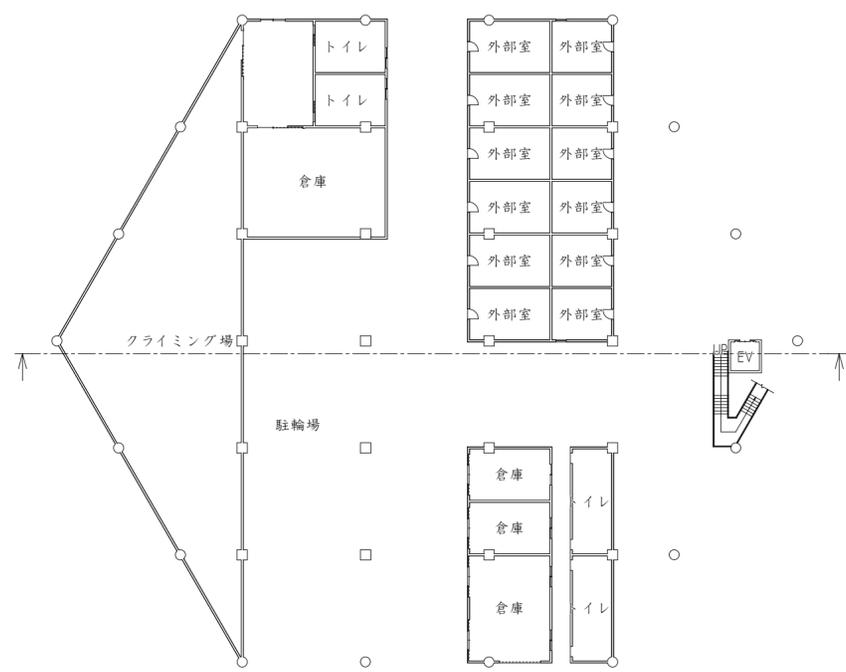
体育館4階平面図 1/500



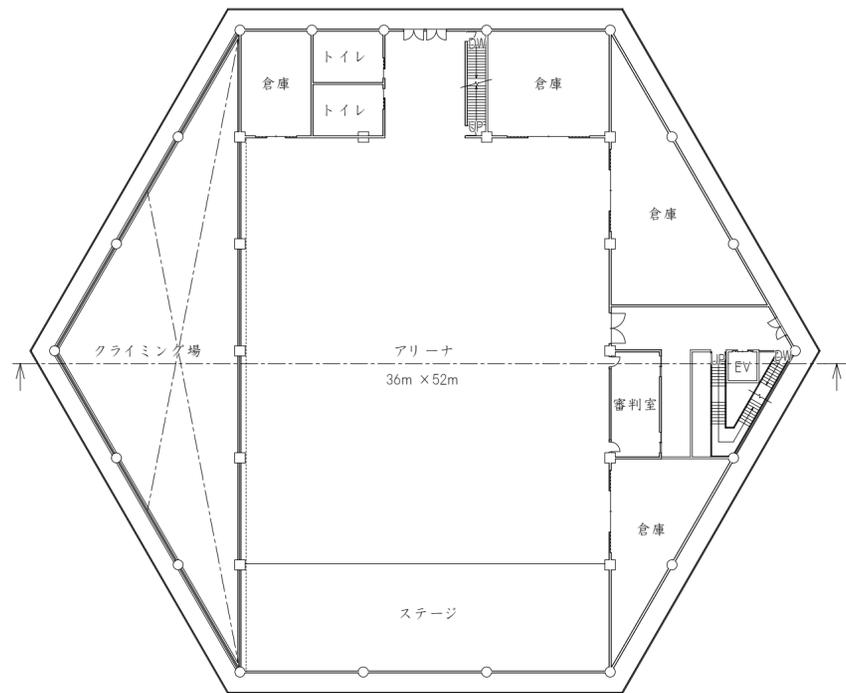
体育館西立面図 1/500



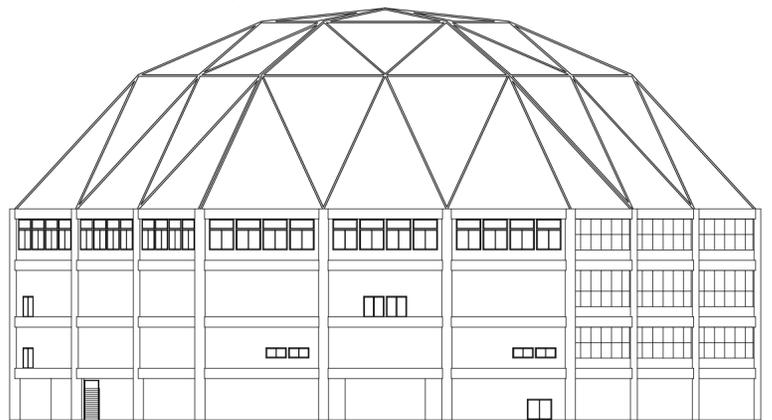
体育館南立面図 1/500



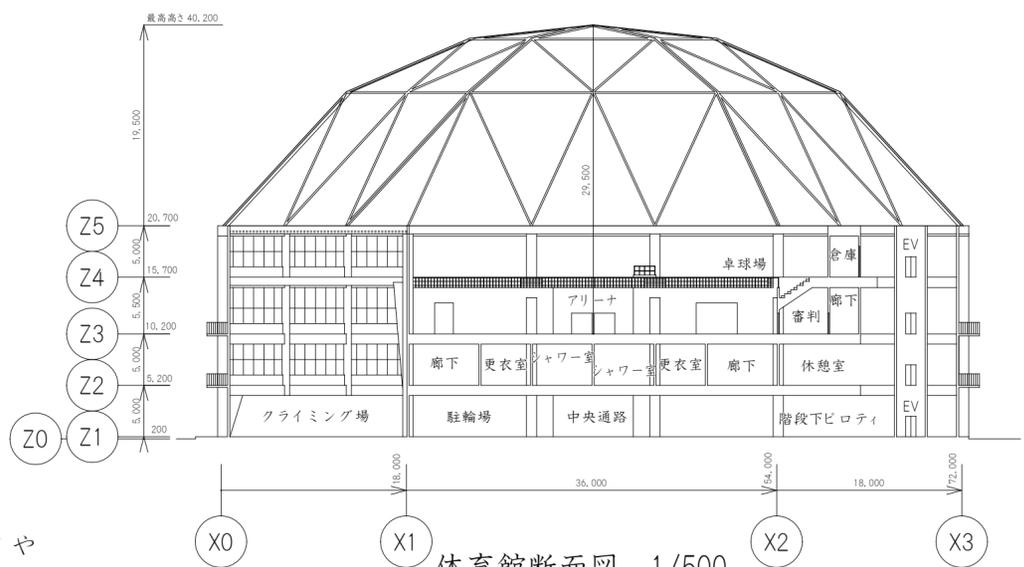
体育館1階平面図 1/500



体育館3階平面図 1/500



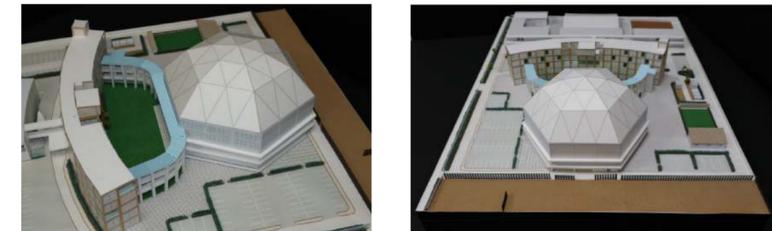
体育館東立面図 1/500



体育館断面図 1/500

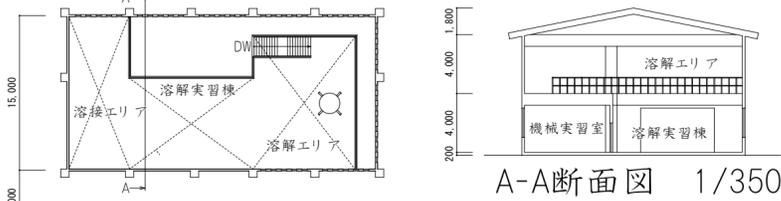


体育館北側は、ボルダリングとクライミング用の競技ができる専用の吹抜け部分となっており、外部からも見学をすることができる。(写真丹原高校)

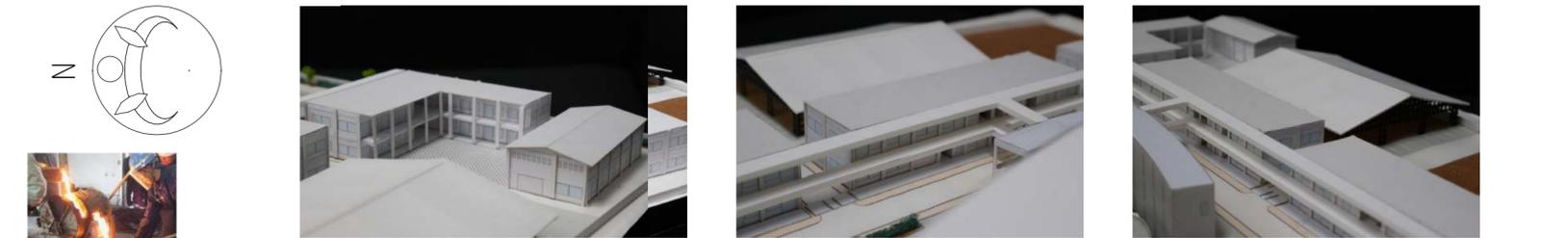
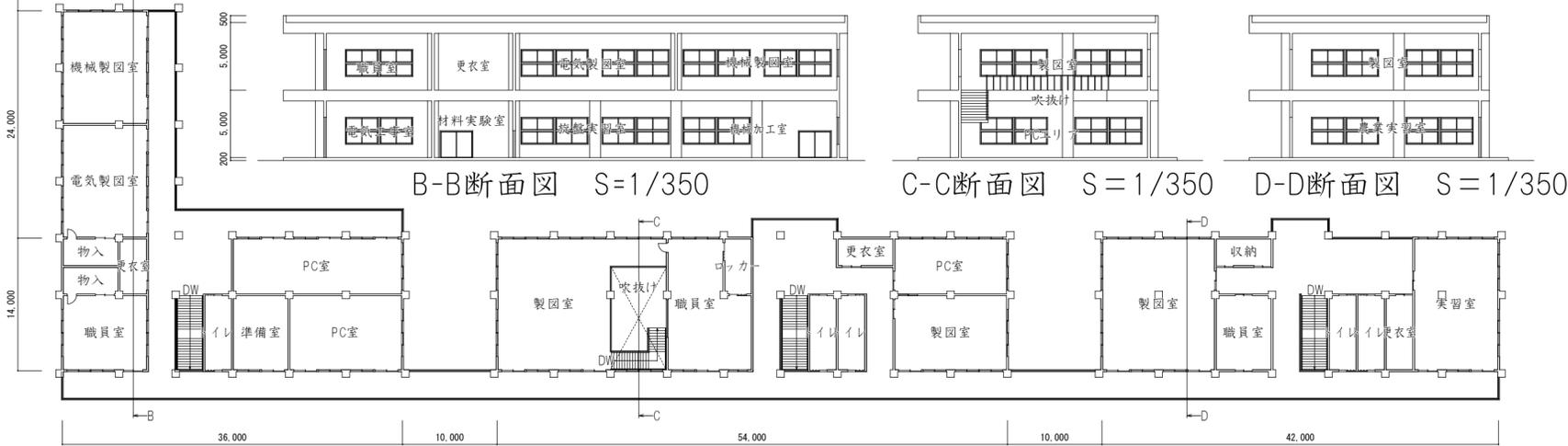


体育館2階3階の外周には渡り廊下があり、動線を分散しグラウンドやクライミング場を見学できる。

工業棟



図書館は本館に沿う形の弧を描いている。地下にはドライエリアがあり、視線を気にせずに過ごせる空間となっている。



工業棟は三棟すべて渡り廊下でつながっている。工業棟から図書館・本館・体育館とつながっており、1階と2階から動線を分散できる。



図書館

